



浮世通鑑

五

雜  
番  
九  
五  
冊  
内

浮世  
五

へ 13

3142

5止





立

計策の脱殻

鄭之私也  
 李氏化之  
 然其私也

亦二

遊ユウ夜ヤ落ラク乃ノウ喝カク

並なああ菜な里り乃のこのるる  
 ええわわもも食くくく亜あ化かよよろろなるなる

卷二

右に  
ま  
か  
て  
せ  
る  
所

元弘父子出世しく久振の對面なる  
都奉大西伏兵衆で具込とせしむ

計策の脱殻

世文庫



[illegible][illegible]











卷二  
遊苑落乃喝

蓮上病何易瘳  

 中のふのつひ  
 むもとてうきやすん

造りし物の事もなくまじくあつたふかありぬれぬ  
以物更彼所人死

一先何時得

又<sup>また</sup>里<sup>り</sup>の<sup>の</sup>こ<sup>こ</sup>へ

芳里作家地

張欽轉沈岳賢

鬼伯一何おどろく

人命不必計

ぞうと不<sup>ふ</sup>解<sup>かい</sup>すをきつてはひるもあやふしきをみだしてさ  
 のほ田<sup>た</sup>改<sup>かえり</sup>す元<sup>もと</sup>和<sup>わ</sup>ま<sup>ま</sup>越<sup>こ</sup>え<sup>え</sup>る者<sup>もの</sup>あり今の国<sup>くに</sup>は  
 ちせ儀<sup>ぎ</sup>中<sup>なかつ</sup>にある事<sup>こと</sup>あらう人<sup>ひと</sup>がなりそ外<sup>ほか</sup>からある  
 人<sup>ひと</sup>よをも唱<sup>のたま</sup>うぬが倉<sup>くら</sup>にけりさ道<sup>みち</sup>の端<sup>はた</sup>の人<sup>ひと</sup>  
 我<sup>われ</sup>どもを可<sup>い</sup>れぬのちとてさうを公<sup>こう</sup>に申しわけ  
 え和<sup>わ</sup>まがこれにつれてお役<sup>やく</sup>あらけるゆゑに京都<sup>きんぐ</sup>  
 を及<sup>およ</sup>ぶ傳<sup>でん</sup>へし候<sup>こう</sup>に事<sup>こと</sup>よりよくは察<sup>さつ</sup>するが  
 え程<sup>ほど</sup>づつ進<sup>すす</sup>まずといふはもと公<sup>こう</sup>を待<sup>まち</sup>て立<sup>たち</sup>まゐるを











[illegible]

三升  
右に  
なで  
ざる  
銚

わかんち  
 悪臣母の祿ひかゝるはさかきなりとのんが  
 かにふりふりふりふりふりふりふりふりふり

[illegible]







一人間一生三世相

弦入全歌又冊

け事ハ人間ノ罪惡ハ天地ノ後マニ由來をさ  
 るしどく要の故ありて天爵と蒙り吾うは  
 以て何如の時ハ長壽富貴を成たしむ  
 ども其実況をちり汝き中とのを成

一歌刻唐詩錦

上  
卷  
入  
金  
歌  
八  
冊

中<sup>ちゆう</sup>に<sup>こ</sup>代<sup>だい</sup>方<sup>ほう</sup>び<sup>び</sup>そ<sup>そ</sup>わ<sup>わ</sup>り<sup>り</sup>に<sup>に</sup>款<sup>くわん</sup>付<sup>つけ</sup>れ<sup>れ</sup>武<sup>ぶ</sup>た<sup>た</sup>の<sup>の</sup>実<sup>じつ</sup>  
義<sup>ぎ</sup>と<sup>と</sup>書<sup>か</sup>き<sup>き</sup>あ<sup>あ</sup>つ<sup>つ</sup>や<sup>や</sup>お<sup>お</sup>り<sup>り</sup>ろ<sup>ろ</sup>免<sup>めん</sup>本<sup>ほん</sup>多<sup>た</sup>り

定榮堂新版當世讀本目錄

最明奇殿諸國物語

全五冊

名槌古今説

全五冊

西海奇談

全五冊

傾城戰國策

全五冊

附 中國の面角めんかくきくく  
たぐくいくいく

辨說叩次第

全五冊

天神利生記

全五冊

毎  
月、  
此  
の  
日  
に  
小  
夜  
衣  
を  
着  
て  
雨  
の  
降  
り  
止  
む  
の  
爲  
め  
に  
異  
人  
は  
不  
可  
得  
の  
縁  
と  
曇  
月  
の  
光  
を  
奉  
り

[illegible]



附 賢と愚と善と悪とをいふの誦  
附 賢と愚と善と悪とをいふの誦

歌討浮田物語 全五冊

附 賢と愚と善と悪とをいふの誦

附 賢と愚と善と悪とをいふの誦

名玉天地説 全五冊

附 賢と愚と善と悪とをいふの誦

附 賢と愚と善と悪とをいふの誦

雲水園雜纂 全五冊

面白くおもしろくおもしろくおもしろく

附 化の習方古方と用ひる一編

近代百物語 全五冊

附 化の習方古方と用ひる一編

附 化の習方古方と用ひる一編

新撰百物語 全五冊

附 化の習方古方と用ひる一編

附 化の習方古方と用ひる一編

耳ふ里新語 全五冊

附 化の習方古方と用ひる一編

繪本野山聲 上 日

繪本盤子山 二冊

繪本月出度 二冊

繪本元師傳 三冊

繪本武將傳 三冊

繪本武將傳 三冊

繪本武者寶 三冊

繪本菊水 二冊

名板和歌選 二冊

繪本娘文庫 五冊



繪本名將文武談武者談 繪本武者大全名將武者

鯨誌くじの巻 菊品きくの品

女歌書大全百人一首

絵合百人一首紅葉香うめのかげ

女文苑おんなの文苑

安永七戌戌年正月吉日

京都書坊 錢屋 善兵衛

大坂書肆 吉文字屋市兵衛

江戸書林 同 次郎兵衛

いしりょう

# 一永曆大雜書天文大成

上天文より中人の事下地理に及んでありさ  
右函善悪毎日けし方角曆上未歌る  
事をも委くの外一代八卦即座の占  
三世相の秘傳男女相性人家日用に  
入る事ハ  
りさるるを  
雜書といふ  
大成といふ



